令和８年１２月１日

保護者　様

さいたま市立徳力小学校
校　長　　白石徳一郎

拉致問題啓発の取組及びブルーリボンバッジ募金について

初冬の候、保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、１２月は人権週間（４～１０日）、世界人権デー（１０日）、北朝鮮人権侵害問題啓発週間（１０～１６日）がありますので、１２月の講話朝会で、北朝鮮拉致問題についてお話しました。拉致問題解決のために、私たちにできることとして「募金」「産経新聞社のめぐみさんへの手紙」「ブルーリボンバッジの着用」などを紹介しました。募金に金額はありませんが、５００円募金するとブルーリボンピンバッジ、２５０円募金するとブルーリボン缶バッジがプレゼントされます。ブルーリボンバッジを身に着けることは「私は拉致問題の一日も早い解決を願っています」というメッセージになりますので、バッジをもらって、名札やバッグなどに付けてもらえると嬉しいです。募金は拉致被害者救出活動のために使われます。学校で募金活動を行うことは、募金の金額だけでなく、困っている人に関心をもち、助け合い活動として募金活動があることを知り、進んで協力しようとする心と態度を育む教育的意義があると考えております。募金は１２月、１月に校長室で受け付けますので、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

また、産経新聞社が募集している「めぐみさんへの手紙」【裏面参照】は、拉致問題について考えたこと、思ったことを横田めぐみさんへの手紙の形で表現するものです。めぐみさんのお母様等に届けられ、いくつかの手紙が産経新聞の紙面に掲載され、北朝鮮人権侵害問題啓発のために役立てられます。作文用紙１～２枚程度で結構ですので、一人でも多くのお子さんに応募していただけたら幸いに存じます。応募する児童は、１月１２日（火）までに担任へご提出ください。



５００円を募金するとプレゼントされるピンバッジ
右端のバッジは磁石タイプのバッジ



２５０円を募金すると
プレゼントされる缶バッジ
※街頭募金では、３００円の募金で１つ、５００円の募金で２つプレゼントされます。
（柄は何種類かあります）